

平成23年度第2回宮城大学食産業学部 教授会（定例）議事録

| | | | |
|----------------|--|------|--------------------------|
| 開催場所 | 管理棟 大会議室 | 開催日時 | 平成23年5月11日（水）13:30～15:30 |
| 出席者 | <p>51名／定数53名 (ファームビジネス学科) 中村(正)教授、本藏教授、小黑教授、齋藤(満)教授、大竹教授、松森教授、小林(仁)教授、井上教授、木村教授、森本教授、岩浪准教授、岩井准教授、中村(聡)准教授、須田准教授、川島准教授、紺屋講師、(フードビジネス学科) 大久教授、池戸教授、津志田教授、石田教授、川村教授、西川教授、三石教授、下山田教授、鶴岡教授、堀田准教授、老川准教授、森田准教授、菰田准教授、金内准教授、石川准教授、都准教授、白川准教授、河西准教授、谷口助教、君塚助教、木下助教、 (環境システム学科) 矢野教授、加藤教授、森山教授、北辻教授、佐藤教授、原田(茂)准教授、笠原准教授、原田(鉦)准教授、今野准教授、千葉講師、伊吹講師、高橋(信)助教、折笠助教 [欠席] ファーム 齊藤(秀)助教、環境 神宮宇准教授</p> | | |
| | 西垣学長（事務局） 眞山参事兼総務学務課長, 半田課長補佐, 深町主事 | | |
| 議 事 内 容 | | | |
| 審議事項 | <p>議事録署名人に学部長，（フード）堀田宗徳准教授を指名した。</p> <p>(1) 第1回議事録の確認について 第1回食産業学部教授会議事録について、メールで送信済みであり、原案のとおり承認された。</p> <p>(2) 被災学生への対応について 資料1に基づいて、被災学生の状況、対応について、学生委員長より説明が行われた。4年生に対して、被災状況調査票を各ゼミ担当の教員より配布し、5月13日(金)までに事務局に提出するよう学生へ周知してもらいたいと協力依頼がなされた。また、今後心のケアも必要となってくる学生も出てくることも想定され、個別に対応が必要な被災学生に対し、担当教員を決めて対応にあたっていきたいと学部長より提案がなされ、承認された。</p> <p>(3) 震災の影響をふまえたキャリア対策について 資料2に基づいて、キャリア開発室長より、震災の影響を受けた学生のためのキャリア対策について、説明が行われた。5月9日に再スタートアップと題し、就活への気持ちが落ち込んでいる学生向けのイベントを開催し、70名の参加があったことが報告された。また、昨年度卒業した学生のうち、20名位の学生が、就職内定待機となっていたが、その後3名以外は着任出来たこと、及び残りの3名についても、引き続きキャリア開発室及び担当教員と連携を取り対応していくことが報告された。現在の4年生の就職内定状況についても、説明がなされ、各担当教員より、キャリア開発室の利用の促進を学生に促してもらいたいと協力依頼がなされた。 文科省より通知のあった被災した新卒者等の就職活動の支援として、国立オリンピック記念青少年総合センターの宿泊施設の無料提供について説明がなされ、利用の申込み方法について話し合われた。</p> | | |

報告事項

(1) 危機対策本部会議報告

資料3に基づいて、加藤教授より危機対策本部会議のうち、震災復興支援事務局の設置、宮城大学震災復興寄付金の受け入れについて、及び、施設等被害状況、補正予算の編成等について報告が行われた。

また、眞山参事より、「三井物産環境基金 2011年度東日本大震災 復興助成」について紹介がなされた。

(2) 「公立大学法人宮城大学食産業学部附属農場管理運営規程」の改正について

資料4に基づいて、農場長より、「公立大学法人宮城大学食産業学部附属農場管理運営規程」の改正について、報告された。

(3) 全学委員会報告

●国際センター運営委員会

資料5に基づいて、国際センター長より報告がなされた。オーストラリア・ギラード首相の来日について報告がなされ、オーストラリア政府より、震災で被害を受けた地域の学生、教育関係者、専門家に対して実施される教育交流支援プログラムについて説明された。タンペレ応用化学大学への長期留学希望者は事業構想学部で2名希望していること、新入留学生歓迎会を5月11日昼休みに実施したことが報告された。また、第7回高校生英語スピーチコンテストは10月9日の大学祭に合わせて実施予定であることが報告された。

●研究委員会

資料6に基づいて、松森教授より報告がなされた。国際学会等発表旅費に係る申請書は、5月15日まで締め切りを延長することが説明された。また、震災後、放射線量のデータを蓄積しており、データが必要な方は、井上理事に要請をしてもらいたいと説明がなされた。

●東日本大震災食産業復興ビジョン等対策検討委員会

復興対策の進捗状況の情報を共有することを目的とし、東日本大震災食産業復興ビジョン等対策検討委員会を立ち上げ、学部として貢献できること、アイデアをまとめていくことが学部長より報告がなされた。個々の先生方で、活動していることがあれば、情報を委員会構成員まで知らせてもらいたいと協力依頼がなされた。

●地域連携センター運営委員会

津志田教授より、6月4日に太白キャンパスにて実施予定の震災復興緊急プログラムについて紹介がなされた。また、12月18日には、宮城大学復興支援シンポジウムチャリティーコンサートを計画中であることも説明された。

(4) 学部委員会報告

●学生委員会

学生委員長より、資料7に基づいて報告がなされた。5月28日に実施する宮城大学保護者の集いについて説明がなされ、先生方の参加について協力が依頼された。

産業実習のスケジュールについて説明が行われ、インターンシップについては、震災の影響を心配していたが、今年も例年通りの派遣先を確保でき、実施出来る見通しとなったことが報告された。また、災害ボランティアについて、4月中の活動状況の報告及び、今後の活動予定について説明がなされた。

●実験安全・管理委員会

実験安全・管理委員長より、下記4点について、協力依頼がなされた。

- ①震災後の実験室の安全性について、各担当での安全確認、及び、毒劇物を扱っている先生方については、受け払い簿への記載・管理の徹底をしてもらいたい。
- ②ソフトウェアの無料メンテナンスを受けている機器がある場合は、期間を確認し、無料期間が過ぎるものについては、必要な予算要求を行ってもらいたい。
- ③前年度のゴミ及び廃液の処理が、震災の影響で停止しており、倉庫がいっぱいとなっており、前年度の処理が終わり次第通知するため、それまでは新たなゴミ等の持込は行わず各部屋で保管してもらいたい。
- ④環境測定の実施を検討しており、各学科でも実施する必要があるか、実施場所について検討してもらいたい。

●入学試験委員会

入試委員長より、5月20日に高校の教員を対象とした学部入試説明会を開催することが報告された。また、編入学試験の実施回数・定員については、平成25年度入試からは定員が若干名と変更となるため、試験回数は1回に変更となること、帰国子女選抜試験方法については、他学部で変更の予定があるが、食産業学部では変更は行わないことが説明された。

●広報委員会

広報委員長より、大学案内パンフレットを現在作成中であり、5月中に完成予定であることが報告された。ホームページ部会では、ホームページ上に震災対策についての記事を掲載していくことが決定しており、現在は塩害対策に対する記事載せていることが説明され、今後も有用な情報を持っている先生方がいればご協力いただきたいと依頼がなされた。

その他

(1)その他

学部長より、教員採用の際の教員選考委員の選出について、これまでは教授会で投票を行い決定していたが、今後は投票ではなく、学部長より選考委員の提案という形に変更したいと提案がなされた。学部長より提案という形でよいが、提案された選考委員について教授会に諮ってもらいたいと意見がだされた。詳細については、次回の教授会で改めて審議することとなる。

議事録署名人

池戸 重信 印

堀田 宗徳 印